

「県民と警察を結ぶ音の架け橋」になる。  
それが音楽隊としての役割。



深尾愛さん(1994年生まれ)

刈谷北高校 出身  
愛知学院大学 経済学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1  
https://www.pref.aichi.jp/police/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→音楽隊に配属

— 学生時代

「中学・高校時代は吹奏楽部に所属し、トランペットを担当していました。コンクールの金賞を目指す中で、コツコツ努力する大切さを学び、忍耐力も鍛えられました。また、中学生の頃から、人の役に立ちたい、困っている誰かを支える仕事になりたいという思いから、漠然と公務員になりたいという気持ちがありました」

大学時代について教えてください。

「愛知学院大学に進学後も、公務員になりたいという気持ちは変わらなく、最終的に警察官になることを目標にしました。警察官採用試験に向けて、大学の公務員試験対策講座を受講しました。教養試験や面接論文対策はとても役立ちましたし、些細なことでも相談すると親身に伝えてくれたので、とても心強かったです」

— 仕事について

「警察官に採用されると、最初の半年間は警察学校に入校します。警察官に必要な法律等の知識を深め、毎朝のランニングや剣道、柔道、逮捕術等の訓練では体力や精神力を鍛えます。大変なことも多かったのですが、同じ志をもつ仲間がまわりいたので頑張ることができました。警察学校を卒業後、2年間の交番勤務を経て、現在は警察本部広報課音楽隊で勤務し、ホルンを担当しています」

仕事内容を簡単に教えてください。  
「県民と警察を結ぶ音の架け橋」と

— やりがい

「この仕事は、音楽を通じて犯罪や事故を防止する」という、これまで私が培ってきた音楽スキルを活かして社会に貢献することができる素晴らしい仕事です。演奏を聴きに来てくれた方が、音楽に合わせて体を揺らしたり、手拍子をして一緒に歌ってくれたりすると嬉しいですね。県民の皆様から笑顔で「楽しかったよー」という声をいただいた瞬間は充実感があり、そこに警察官としての誇りとやりがいを感じています」



— なるためには

「まずは、警察官採用試験に合格することです。不安な方は、大学で実施されている公務員試験対策講座を受けることをおすすめします。先輩たちの経験を聞くこともできたので、私はとてもいい機会だったと思います。あとは、警察官になりたいという想いを強く持ち続けてください。また、学生時代は趣味でも部活でも何でもいいので夢中になって取り組めることを見つけて欲しいです。それがきつと人生の中で大きな自信につながると思います」

ありがとうございます。



自分探検

- 18歳 中学高校と吹奏楽部に所属。卒業後、愛知学院大学に進学。
- 22歳 警察官採用試験に合格し、警察学校へ入校する。
- 27歳 音楽隊として勤務。音楽を通し、犯罪や事故の防止に努める。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

